

中学校版 特別の教科 道徳（道徳科）

内容項目

～道徳の時間から道徳科への変更点～

大分県教育庁義務教育課

道徳の時間 (5項目) 1. 主として自分自身の関すること		道徳の時間 (6項目) 2. 主として他の人とのかかわりに関すること		道徳の時間 (10項目) 4. 主として集団や社会とのかかわりに関すること		道徳の時間 (3項目) 3. 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること	
(1)	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。	(1)	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。	(1)	法やまじりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。	(1)	生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。
(2)	より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。	(2)	温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。	(2)	公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。	(2)	自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深める。
(3)	自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。	(3)	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。	(3)	正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。	(3)	人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見いだすよう努める。
(4)	真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。	(4)	男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。	(4)	自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。	(4)	
(5)	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。	(5)	それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に学ぶ。	(5)	勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。	(5)	
		(6)	多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。	(6)	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。	(6)	
				(7)	学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。	(7)	
				(8)	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。	(8)	
				(9)	日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。	(9)	
				(10)	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。	(10)	

計 24 項目

◎右のB～Cと比べると、大きな変容はない。 ◎自己の在り方、自己の形成を図ることに関する内容。 ◎何が正しくて何が間違っているのか、正しい判断が何をもちあらすのかなど、自己を振り返らせ、考えさせることが大切。	◎6つの内容項目が、整理・統合され4つになる。 ◎人間関係を構築する資質を育てる内容項目。 ◎Bのどの内容項目にも、他者への敬愛の念があることが前提となり、授業が成立する。	◎10項目が、整理・統合され9つになる。 ◎様々な社会集団の中でよりよく生きる資質を育てる内容項目。 ◎「郷土を愛する態度」「国を愛する態度」「国際理解」など、国際社会と向き合う資質を養うことが求められている。	◎「生命の連続性」「生命の有限性」なども含めて理解を図ることを意識する。 ◎「自然愛護」「感動、畏敬の念」は、系統的に指導できるよう分割された。
--	--	---	---

特別の教科 道徳 (5項目) A. 主として自分自身に関する事		特別の教科 道徳 (4項目) B. 主として人との関わりに関する事		特別の教科 道徳 (9項目) C. 主として集団や社会との関わりに関する事		特別の教科 道徳 (4項目) D. 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事	
自主、自律 自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	思いやり 感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	遵法精神 公德心	法やまじりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。
節度、節制	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け安全で調和のある生活をする事。	礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	公正、公平 社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。
向上心 個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	友情、信頼	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	社会参画 公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	感動、 畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めること
希望と勇気 克己と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる事。	相互理解 寛容	自分の考えを相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考を深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	よりよく 生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。
真理の探究 創造	真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。			家族愛 家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。		
				よりよい学校生活 集団生活の充実	教師や学校の人々に敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくることとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実を努めること。		
				郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。		
				我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。		
				国際理解 国際貢献	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。		

計 22 項目